



学業優秀の奨励

今日のセカンダリースクールでは、生徒一人一人が可能性を發揮しやすい評価制度を採用しています。

生徒は、レベル別評価(良または優)の加わった NCEA資格を取得できるようになりました。50単位で優を獲得した生徒は優レベルのNCEA資格を取得し、50単位で良を獲得した生徒は良レベルのNCEA資格を取得します。(50単位中に優と良が混じっている場合は良レベルとなります。)

その他の資格制度

大学入学資格

大学入学資格を取得するには、国家資格制度レベル3に定められた単位数を履修し、さらに国語および数学の要件を満たす必要があります。この条件を満たした生徒は、中等教育修了後にニュージーランド国内の大学へ進学できます。

奨学金

極めて優秀な生徒の才能を伸ばすことを目的とする奨学金制度では、学外評価によって対象者を選抜します。選抜された生徒は、高等教育の学資援助を受けることができ、各教科ごとに一定数の割合の生徒に奨学金が支給されます。

成績発表

NZQAのウェブサイトアクセスし、学校からNZQAに通知された学内評価の結果を閲覧することができます。

1月下旬には、学内評価と学外評価を合わせた学年年度の最終成績が郵送され、その中に合格基準あるいは不合格基準も記録されています。

奨学金選抜試験の結果は、2月中に郵送されます。

卒業生には、在校中の履修内容およびその結果(不合格基準も含む)を一覧にしたSchool Results Summary(中等教育総合成績表)が発行されます。

在校中に取得したすべての合格基準は、従来のRecord of Learning(学習記録)に代わるRecord of Achievement(学習到達記録)に記録されます。中等学校卒業後も、新たな資格や職場研修を修了するたびに、学習到達記録の内容を更新することが可能です。

国際的な位置付け

NCEAは中等学校卒業を証明する国家資格であり、イギリスをはじめとする諸外国で高等教育進学や選抜基準の目安とされている *International Qualifications for Entry into Higher Education* (高等教育進学基準を満たす国際資格)にも掲載されています。NCEAレベル3は、English A Levels(イギリスAレベル試験)やオーストラリアのHigher School Certificate(統一卒業試験)にほぼ相当します。

詳しくは下記までお問い合わせください。

ニュージーランド資格審局
New Zealand Qualifications Authority
(NZQA)

電話 0800 NCEAHELP
または0800 623 243

電子メール
helpdesk@nzqa.govt.nz

www.nzqa.govt.nz/ncea



NEW ZEALAND QUALIFICATIONS AUTHORITY
MANA TOHU MĀTAURANGA O AOTEAROA

New Zealand Government

セカンダリー
スクールの資格



NEW ZEALAND QUALIFICATIONS AUTHORITY
MANA TOHU MĀTAURANGA O AOTEAROA

セカンダリースクールの資格

今日、ニュージーランドのセカンダリースクール(中・高等学校)では、次のような特徴を持つ資格制度が導入されています。

- すべての生徒が可能性を發揮しやすく、各自の学習成果が評価されます。
- 国家資格取得に向けた学習内容の選択や学習到達度の評価は、ある程度、学校の自主裁量に任せられています。
- 卒業時には、学習成果を明記した成績証明書が授与されます。

資格制度の枠組み

ニュージーランドの主な中等教育資格は National Certificates of Educational Achievement (NCEA:全国共通中等教育資格)です。

NCEAは、旧制度のSchool Certificate(義務教育修了資格)、Sixth Form Certificate(現12学年にあたる第6学年修了資格)、Bursary(奨学金制度選抜資格)に代わる資格制度として2002年より導入されました。通常、(旧制度の5~7学年にあたる)11学年から13学年にかけて3段階レベルの資格を取得します。

学習水準を基にしたNCEAは、各教科の評価基準と照らし合わせて生徒が知っていること、できることを評価します。

また、NCEAはニュージーランドの正式な中等教育資格として国内外の大学や企業に認められています。

三部構成のNCEAは、1000種以上の国家資格から成るNational Qualifications Framework(NQF:国家資格制度)の一環です。

多くの学校ではNational Certificates(全国共通資格)も指導内容に含めており、NCEAと並行して専門分野の資格取得へ向けた学習が可能です。在校中の職業体験を通じて得た単位が、複数にわたる資格の

履修単位として認可される場合もあります。また、在校中に履修した単位のすべてはNCEAの学習成績にも反映されます。

経営、園芸、観光、船大工、情報テクノロジー、保育など、幅広い分野の資格を取得できる全国共通資格は、卒業後の進路をすでに決めている生徒の出発点として適しています。

生徒一人一人に合わせた柔軟性ある学習

生徒は義務教育修了後も在校し、校外実習を含め、さまざまな形で学習を深めることができます。幅広い教科にわたる短期コース、レベル統合クラス、産業界や地元企業協賛のコースなどを開催する学校もあります。

生徒が自らの可能性を發揮して優れた学習成果を収められるように、教育現場で生徒のニーズに合わせた学習計画を立てることができる、柔軟性のある学習環境です。

NCEAの仕組み

各科目の技能や知識を詳細に定義した**全国共通基準**に基づいて、学習成果が評価されます。生徒の習熟度を評価するこれらの基準は、学習到達基準と単位基準の二つに分類されます。

学校の担当教師によって学内評価されるのが**単位基準**です。規定の学習成果をあげ、学習目標に到達した生徒はachieved(基準合格)、到達しなかった生徒はnot achieved(基準不合格)と評価されます。

学習到達基準には、学校の担当教師による学内評価、あるいは学年度末の全国試験による学外評価がありますが、一般的にはそれら両方で評価します。学習到達基準でも、基準に達しなかった生徒はnot achieved(基準不合格)となります。しかし、基準に達した生徒については、試験結果に応じてachieved(基準合格)、merit(良)、excellence(優)の3段階評価がなされます。



英語に代表される従来の教科には、課題、技能、知識に応じて複数の基準(5~7項目)が設定されています。これらの基準は現場の教師達との協議に基づいて設定され、ニュージーランド国内教育課程に認定された学習領域と関連性を持っています。

一つの基準へ到達するごとに、資格取得に必要な単位が加算されます。例えば、レベル1で国語8単位、数学8単位を含む計80単位を履修した生徒は、NCEAレベル1の資格を取得します。